

まほろば健康パークにおけるインクルーシブ機能検討委員会
(第2回委員会資料)

令和 6 年 5 月 2 8 日

奈良県 まちづくり推進局
公園企画課

目次

■前回の振り返り

■整備コンセプト・整備方針（案）について

- (1) 子どもの遊び場等に関する現状整理
- (2) ニーズ調査結果
- (3) ニーズ調査結果の整理
- (4) 子どもの遊び場に関する課題
- (5) 課題に関する参考事例
- (6) 整備コンセプト
- (7) 整備方針

■今後の予定に関して前回頂いた意見に対する対応

■前回の振り返り

○主な意見・論点

- 1) まほろば健康パークにおけるインクルーシブのあり方を検討するには、この公園でやるべきことと、県全体でやるべきことの整理が前提となる。次回までに、事務局で、整理、方向付けを行うこと。
- 2) 休憩施設、通路、駐車場の必要性について、具体的な意見があったが、空間として収まるのか考えるべきところもあるので、次回、現地調査も含めながら議論を深めることとする。
- 3) 自然の要素をインクルーシブな遊びの中にどのように取り込んでいくのか、というところは、非常に大きなポイントとなる。
- 4) ハード整備によって、場を作るだけでは、日本の状況では、障害者と健常者の交流は、なかなか進まないところがある。交流を促進するために、直接的間接的な仕組みを作ることが必要となる。
- 5) まほろば健康パークにおいても、防災の視点を考慮することが、インクルーシブな公園のありように繋がってくるというのは、重要なポイントとなる。

(1) 子どもの遊び場等に関する現状整理

□まほろば健康パークの利用圏域内における子どもに関係する公園施設等の整備状況

◆ 県、市・町、民間を含めると子どもが遊ぶ施設は一定数確保されている。

公園等管理者	子どもの遊びや運動に関する施設						
	①遊具		②広場 (多目的 or 芝生)	③屋内遊戯場	④ファミリー プール	⑤運動施設	
	未就学児	就学児				体育館	屋外
県管理の 公園	×	○ 4箇所	○ 6箇所	×	△ 1箇所 (まほろば健康パーク)	○ 3箇所	○ 3箇所
市・町管理の 公園 (街区公園除く)	○ 3箇所	○ 7箇所	○ 9箇所	△ 2箇所 (奈良市子どもセンター) (桜井市ひみっこぼーく)	△ 1箇所 (樫原運動公園)	△ 1箇所 (鴻ノ池運動公園)	○ 4箇所
参考 (民間)	○ 6箇所	○ 11箇所	△ 1箇所 (生駒山上遊園地)	○ 11箇所	×	○ 3箇所	×

○凡例
○ : 3件以上
△ : 3件未満

※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。
※本調査は、公園企画課による調べ。

(1) 子どもの遊び場等に関する現状整理

□子どもの遊びや運動に関係する施設事例



○遊具(未就学児)(柏木公園(奈良県))



○遊具(就学児)(まほろば健康パーク公園(奈良県))

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています

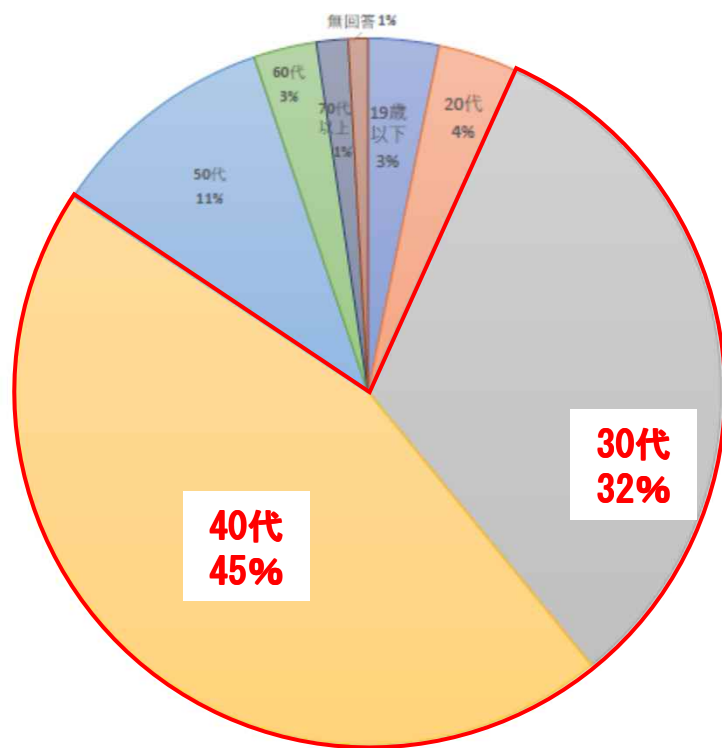
○屋内遊戯場(ラウンドワン(左)ニンジャパーク(右)(奈良県))

(2) ニーズ調査結果

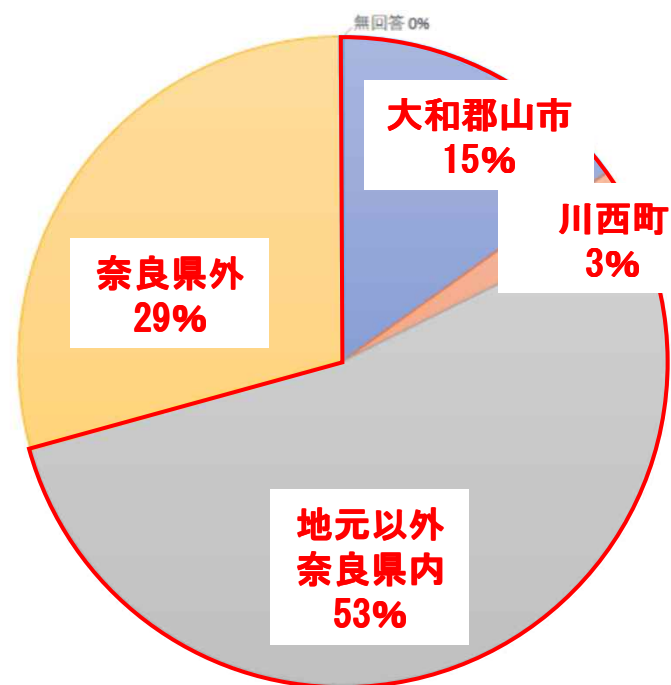
□アンケート結果

- ◆ 令和5年8月3～6日（平日、土日それぞれ2日間）にまほろば健康パークファミリープール利用者を対象にアンケート調査を実施した。（回答数555人）
- ◆ 年齢層は30と40代が約8割であり、お住まいは「奈良県内」が約7割となった。

年齢層



お住まい地域



(2) ニーズ調査結果

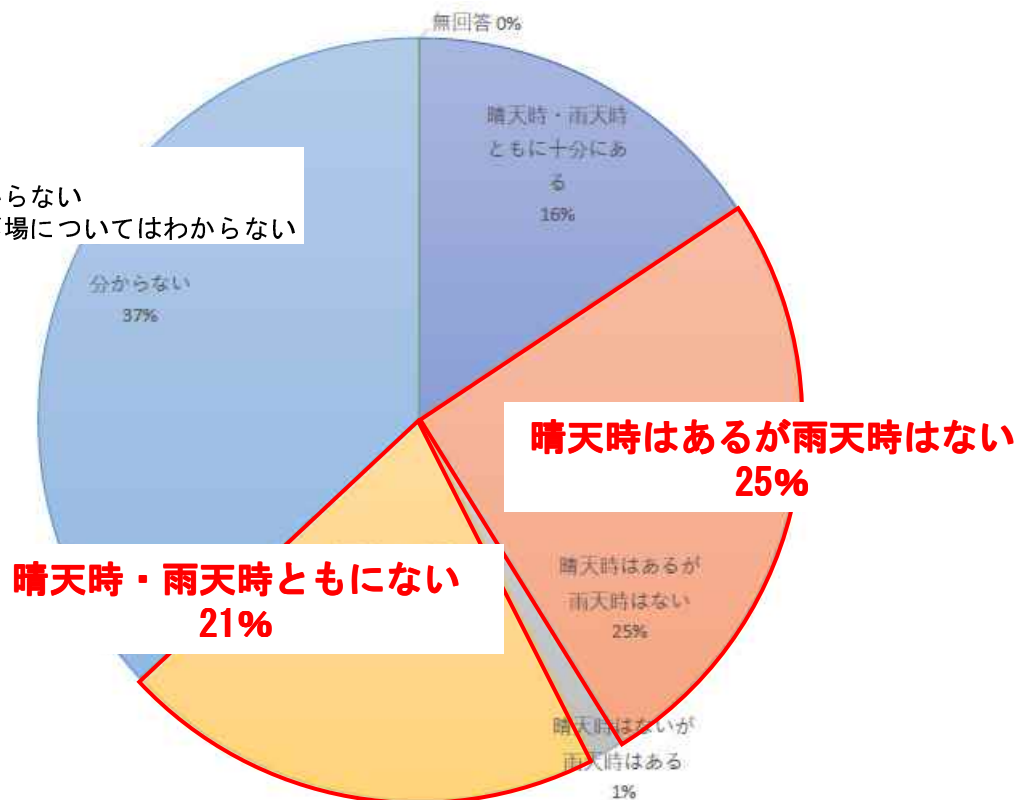
□アンケート結果

◆ 県内の子どもを遊ばせる場所が「晴天時はあるが雨天時はない」と「晴天時・雨天時ともない」が約5割であり、雨天時に遊べる施設に対するニーズが高い。

子どもを遊ばせる場所

※主な意見

- ・奈良県県外に住んでいるためわからない
- ・孫を連れてきたので子どもの遊び場についてはわからない

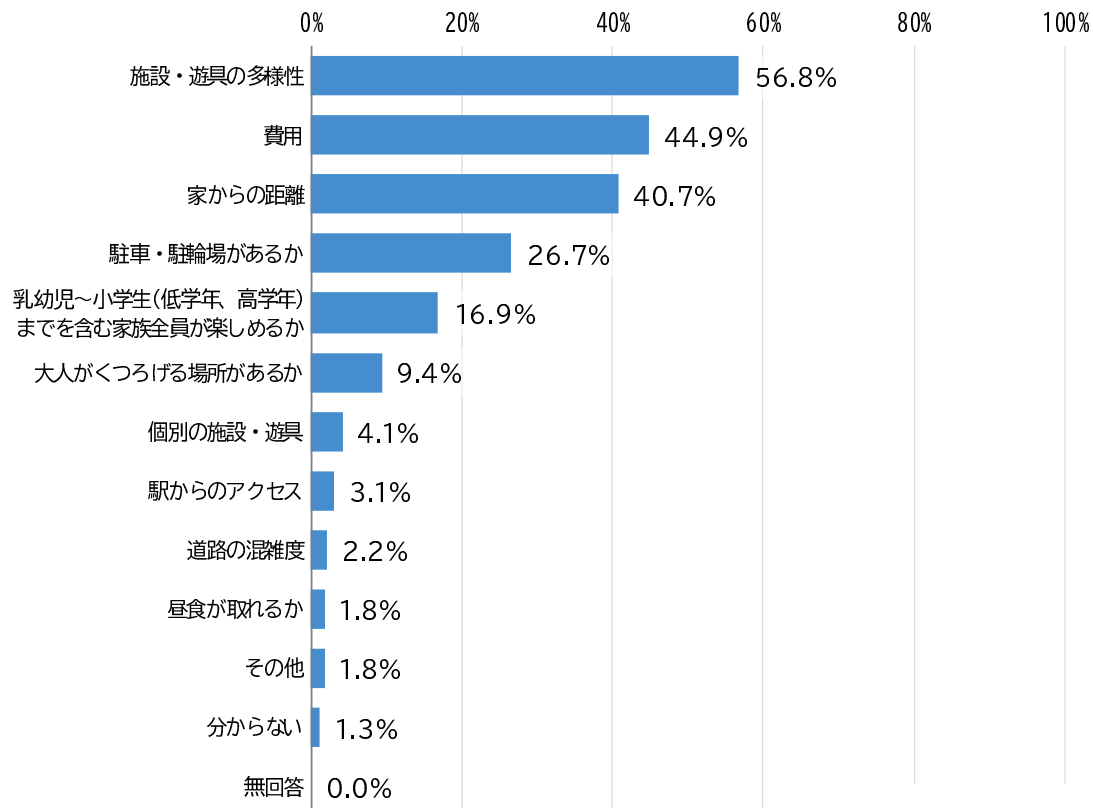


(2) ニーズ調査結果

□アンケート結果

- ◆ 施設・遊具の整備に関しては、「個別の施設・遊具」ではなく、「施設・遊具の多様性」を重視している。
- ◆ 「費用」と「家からの距離」や「駐車・駐輪場があるか」といった、アクセスの良さを、次に重視している。
- ◆ 「乳幼児～小学生（低学年、高学年）」、「大人がくつろげる場所があるか」といった、大人も含めた家族全員が楽しめるかといった点も重視している。

子どもと公園等に出かける際に重視している点

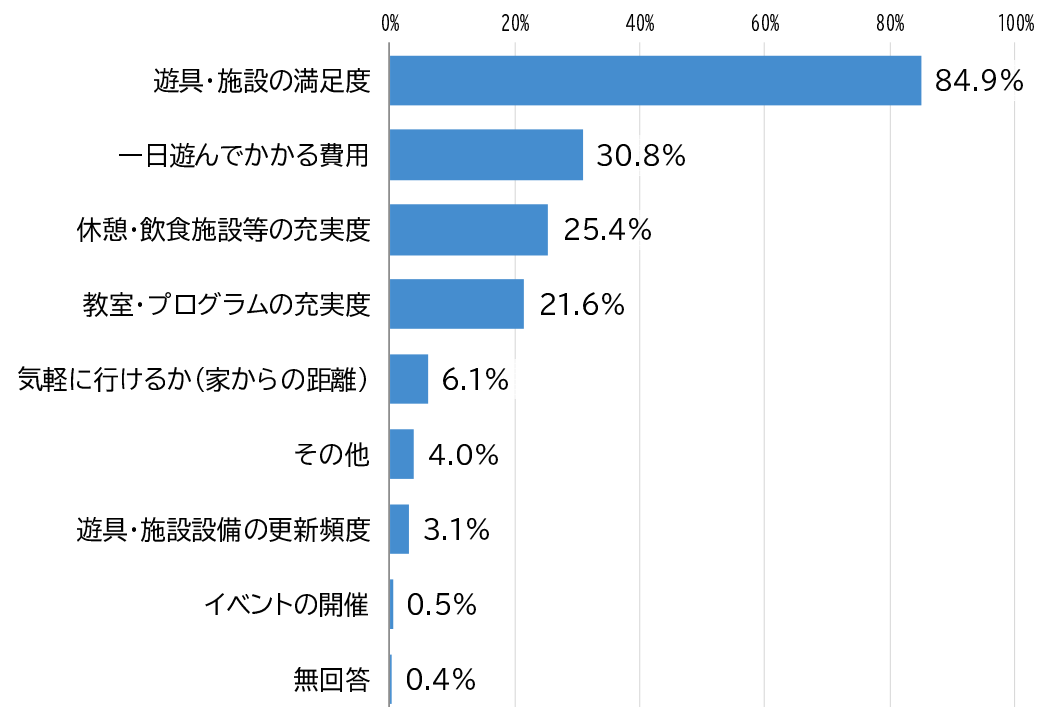


(2) ニーズ調査結果

□アンケート結果

- ◆ 「一日遊んでかかる費用」より、「遊具・施設の満足度」を重視している。
- ◆ 「休憩・飲食施設等の充実度」も重視している。
- ◆ 「教室・プログラムの充実度」も重視している。

公園等に再び訪れる際に重視する点

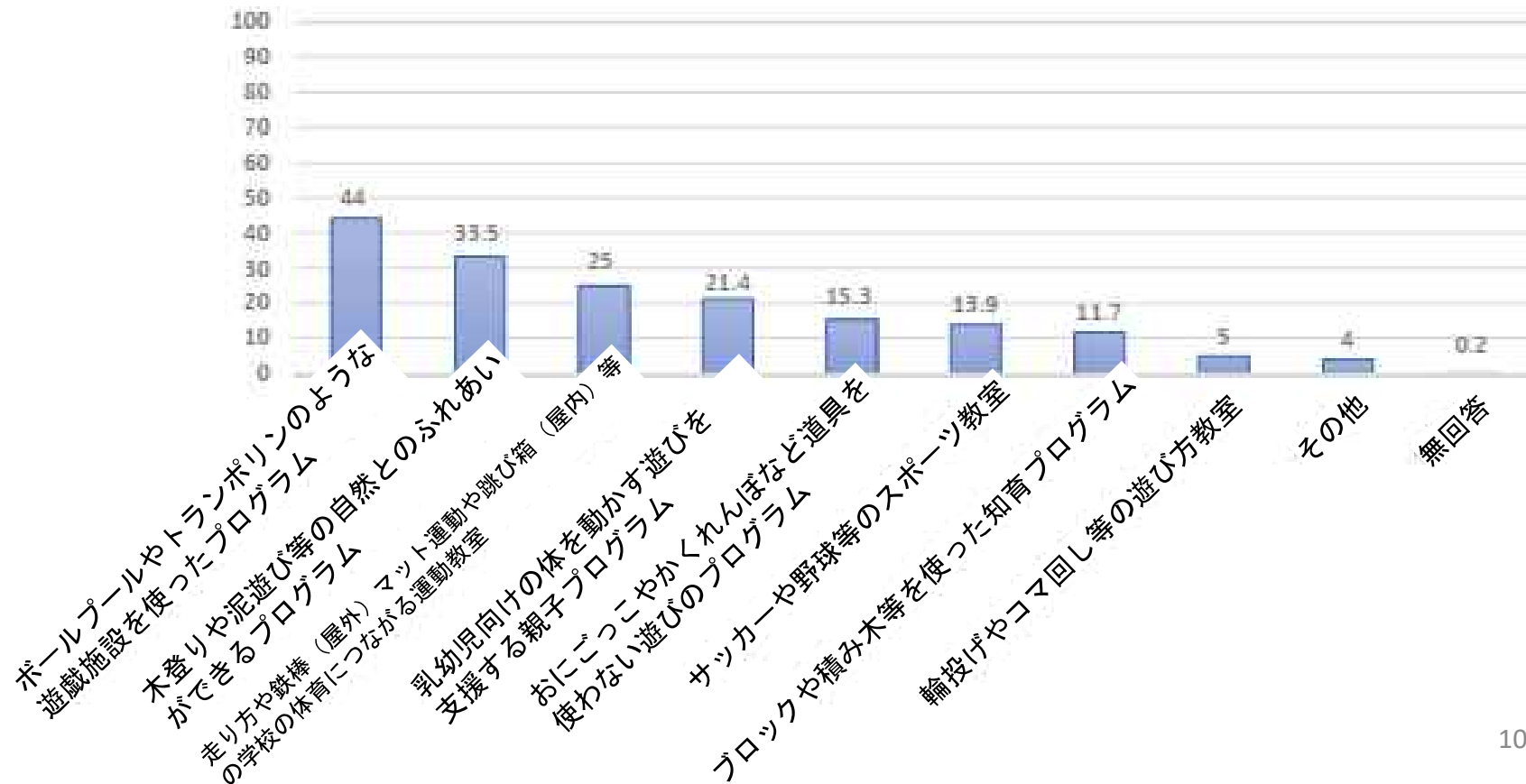


(2) ニーズ調査結果

□アンケート結果

- ◆ 施設や道具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関する教室・プログラムに対してニーズがある。
- ◆ 木登りや泥遊び等、自然とふれあえるプログラムに対しても、高いニーズがある。

教室・プログラムに対するニーズ

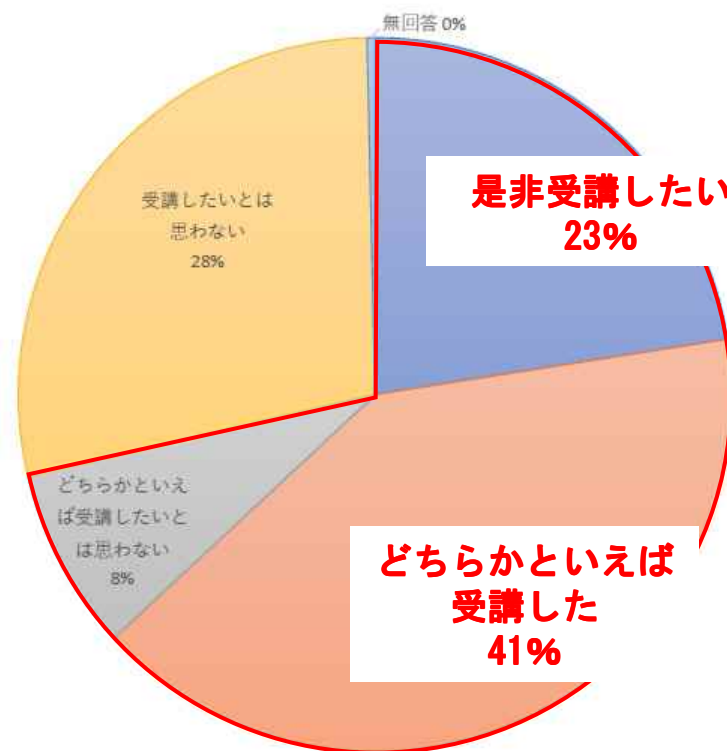


(2) ニーズ調査結果

□ アンケート結果

◆ 子どもを遊ばせている間に大人も体を動かすことできるプログラムへの受講意向が高い。

子どもを遊ばせている間に大人も体を動かすことできるプログラムへの受講意向



(2) ニーズ調査結果

□県内福祉団体等からのヒアリング結果（12団体約30人に対してヒアリング）

○施設・遊具の整備

- ・大型ベッドのあるトイレ、介助者と一緒に入ることの出来るトイレは必要。
- ・音で遊ぶ遊具には、併せて光で遊ぶ機能もつけてほしい。
- ・突然、走り出したりして、遊具等にぶつかったり、転んだりする。そういった際に、怪我をしないように、素材等は柔らかいものを使ってほしい。
- ・リハビリテーションセンターにある、障害の程度に応じて遊具等を組み替えて作る、スタートとゴールのあるサーキット活動（山あり、谷あり、平行棒等）の出来る場所を設けてほしい。
- ・充電が必要な医療機器も多数あるので、電気の取れる場所もあるとありがたい。
- ・子どもが遊んでいる間、親もくつろげる場所をつくってほしい。
- ・電光掲示板やフラッシュライト等で聞こえない人にも情報が伝わるようにしてほしい。
- ・自閉症の8割は知的障害を伴っているので、ピクトのような直感的にわかる案内が必要。
- ・車で行くことが基本となるので、障害のある子どもの遊ぶエリアは駐車場を近くに設けてほしい。

○雨天時等でも遊べる場所

- ・温度調節が難しい子もいるので、屋内で遊ぶことの出来る施設があるとありがたい。
- ・発達障害の子は、暑さ・寒さに過敏で、突発的に走り出したりしていなくなってしまうので、屋外で遊ばせるのが難しく、奈良県にはそういった子どもを遊ばせることの出来る屋内施設がない。

(2) ニーズ調査結果

□県内福祉団体等からのヒアリング結果（12団体約30人に対してヒアリング）

○交流する仕組み

- ・ 健常者⇔障害者⇔障害者で交流が出来るような工夫をしてほしい。
- ・ 公園利用者同士が自然と声をかけあったり、一緒に遊んだりする環境づくりをするために、コーディネーターやプレーリーダーなどを配置してコミュニケーションを促す土壌づくりをしてほしい。
- ・ 公園の中で、ある程度のゾーン分けは必要と思うが、年齢や障害の有無等ではっきりとわけないでほしい。

○自然の活用

- ・ 拡張予定区域にある既存の自由広場は残してもらいたい。
- ・ 土や自然に触れる場所が身近になく、木登りなんかも出来る場所があると良い。
- ・ 花を楽しむことの出来る空間があると良い。

(3) ニーズ調査結果の整理

□アンケート調査結果と県内福祉団体等からのヒアリング結果の整理

	項目	内容
整備	①インクルーシブな施設・遊具等	施設・遊具の多様性が求められており、バリアフリーの基準を満たすだけではなく、アクセスも含めて、様々な人に配慮したインクルーシブな施設整備が求められている。また、大人もくつろいだり楽しめる場所が求められている。
	②雨天時等でも遊べる場所	屋内遊戯場や体育館といった雨天時等に遊べる場所は一定数あることから、そういった施設とは異なる雨天時等に遊べる場所が求められている。
運営	③交流を促す仕組み	プレイワーカーの配置やゾーニングの工夫等によって、健常者と障害者や障害者同士の交流が深まる仕組みが求められている。
	④幅広い内容の教室・プログラム	施設や道具を使った、幅広い内容の遊びや運動に関するプログラム等が求められている。
その他	⑤自然の活用	木登りや泥遊び等、自然と触れあえることのできる場所やサービスに対してニーズがある。

(4) 子どもの遊び場等に関する課題

□ニーズ調査等を踏まえた現状分析

◆ ニーズ調査等から求められる機能が、まほろば健康パーク利用圏域内では不足している状況。

公園管理者名	ニーズ調査等から求められる機能				
	①インクルーシブ機能	②雨天時等でも遊べる場所 (屋内遊戯場、屋内運動施設以外)	③交流を促す仕組み	④幅広い内容の教室・プログラム	⑤自然の活用
県管理の公園	×	△ 1箇所 (馬見丘陵公園)	×	×	×
市・町管理の公園 (街区公園除く)	△ 1箇所 (柏木公園)	△ 1箇所 (榎原運動公園)	△ 1箇所 (奈良市子どもセンター)	△ 1箇所 (奈良市子どもセンター)	△ 2箇所 (生駒山麓公園) (信貴山のどか村)
参考 (民間)	×	×	×	×	×

※本調査は、まほろば健康パーク15km圏域からの施設を抽出。
※本調査は、公園企画課による調べ。

○凡例
○：3件以上
△：3件未満

(5) 課題に対する参考事例

① インクルーシブな施設・遊具等



○寝転べる広さがあり姿勢の保持が難しい子どもと一緒に楽しめる遊具(柏木公園(奈良県))
出典:奈良市HP“公園 施設一覧”

※ホームページへの掲載に際して写真を削除しています

○弾性のゴムチップを敷き詰め万が一転倒しても衝撃を吸収してくれる広場(西宇治公園(京都府))



○車椅子でのぼれる傾斜の緩いスロープがある遊具(りんくうアイスパーク(大阪府))
出典:泉佐野市HP おもてなし課NEWS“インクルーシブ遊具が新設されました”

※ホームページへの掲載に際して写真を削除しています

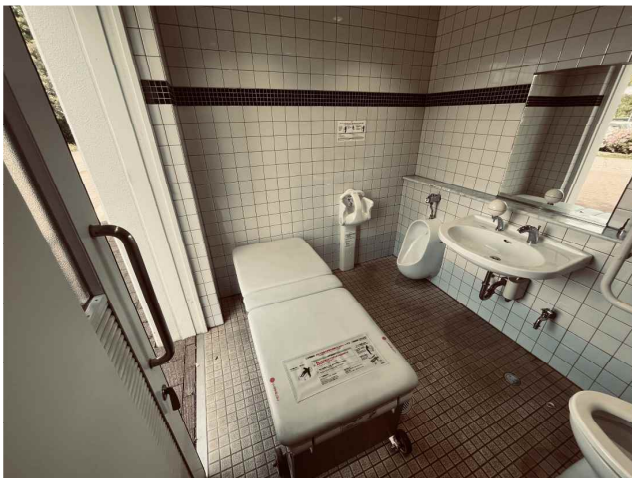
○座った姿勢の維持が難しい子どもが落ちないようにハーネスのついた椅子型遊具(湖岸緑地(滋賀県))

(5) 課題に対する参考事例

① インクルーシブな施設・遊具等

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています

○音や色の变化から視覚や聴覚で楽しむことができる遊具(奈義町総合運動公園(岡山県))



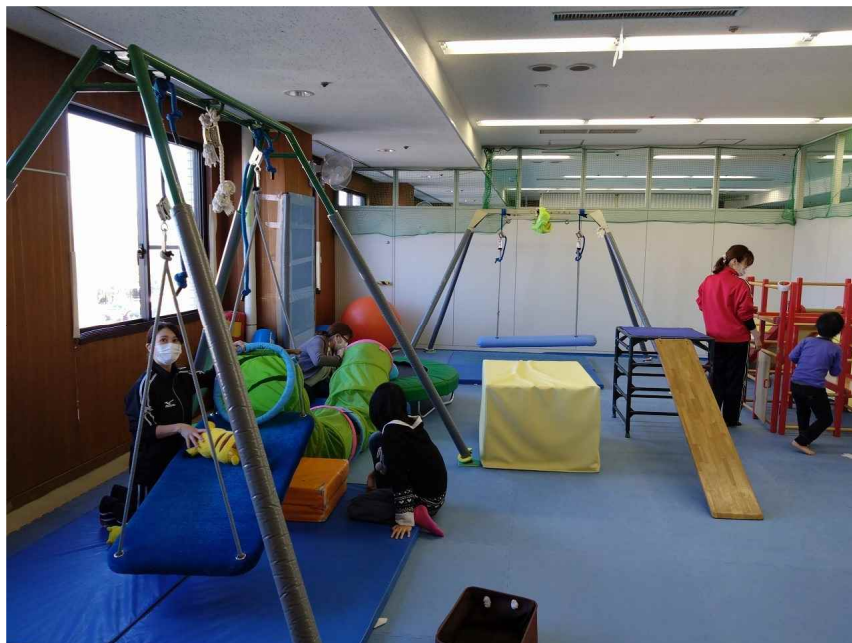
○大型ベットのトイレ(まほろば健康パーク(奈良県))

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています

○介助スペースの確保や異性介助者が周囲の視線を気にすることなく入ることができるトイレイメージ

(5) 課題に対する参考事例

① インクルーシブな施設・遊具等



○平均台や跳び箱を組み合わせた事例
(奈良県総合リハビリテーションセンター)



○複数の乗り物の音を座面からの振動により楽しむ事例
(奈良県ろう学校)

(5) 課題に対する参考事例

① インクルーシブな施設・遊具等

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています

○高松公園(岩手県盛岡市)

・遊具で子どもたちが遊んでいる間、盛岡市が無料で健康増進等のため「Park Yoga」
として実施している教室に親同士が参加し、交流を育んでいる。

(5) 課題に対する参考事例

① インクルーシブな施設・遊具等

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています

○デジタルサイネージによる告知

○聴覚障害者への光警報装置

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています

○色を活かした案内サイン

○ピクトグラムを目立たせる

(5) 課題に対する参考事例

②雨天時等でも遊べる場所



○大型テントにて多目的に活用(馬見丘陵公園(奈良県))

出典: 奈良県HP“第4回 馬見フラワーフェスタ”

※ホームページへの掲載に際して写真を削除しています

○屋根付き運動場(橿原運動公園)



○小さな幼児向け施設(ナガシマスパーランド(三重県))

出典: 株式会社TRA・K HP“膜構造建築”



○屋根付き芝生広場(安満遺跡公園(大阪府))

出典: 安満遺跡公園HP“施設紹介”

(5) 課題に対する参考事例

③交流を促す仕組み

※ホームページへの掲載に
際して写真を削除しています



○奈良市子どもセンター(奈良県)
・地域子育て支援センターとキッズスペースに分かれている。(0~3歳まで)複数の子どもが同時に「ゆれ」や「回転」を楽しめる遊具を設置し、多世代の交流するきっかけとなっている。

○羽根木プレーパーク(東京都世田谷区)
・「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした遊び場で、プレーリーダーや地域のボランティアに見守られながら、普通の公園ではできない焚き火や泥遊び、木登りなどを教えてくれる。幼児から学童までを中心に多世代が集い、自由な遊びができる場です。

出典: 認定NPO法人プレーパークせたがやHP“よろしく! プレーパークせたがやです”

(5) 課題に対する参考事例

③交流を促す仕組み



○鞆公園(大阪府)

・車椅子テニスを健常者と障害者が共に練習や試合を行う。障害者が健常者の公式試合に出た実績がある競技である。

出典：CHALLEATH HP “テニスの楽しさを広げる『ニューミックス』～大阪市長杯ふれあいニューミックス車いすテニス大会～”

※ホームページへの掲載に際して写真を削除しています

○雲仙市小浜体育館(長崎県雲仙市)

・ボッチャは重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツである。健常者が目隠しする等、お互いにハンディなくプレーできるよう工夫されている。

(5) 課題に対する参考事例

④幅広い内容の教室・プログラム

※ホームページへの掲載に際して写真を削除しています

○自然とのふれあいができるプログラム
(プレパークこうりがおか(大阪府))



○防災教育(奈良市子どもセンター(奈良県))

出典: 奈良市子どもセンターにじいるfacebook



○道具を使わない遊びのプログラム
(東部フレンド公園(東京都))

出典: 毎日新聞HP“「だるまさんが転んだ」が好評 昔遊びを推す東京・江戸川区の狙い”



○サッカー教室(安満遺跡公園(大阪府))

出典: 安満遺跡公園HP“ガンバ大阪キッズサッカー教室開講!”

(5) 課題に対する参考事例

⑤自然の活用



○キャンプ場(生駒山麓公園(奈良県))

出典: 生駒山麓公園HP“野外活動センター”



○味覚狩り(農業公園信貴山のどか村(奈良県))

出典: 奈良の総合情報サイト「Narakko!」
“【三郷町】信貴山のどか村”



○樹林地や農地等のみどりを活かした公園(こどもの森(東京都練馬区))

出典: 練馬区HP

(6) 整備コンセプト

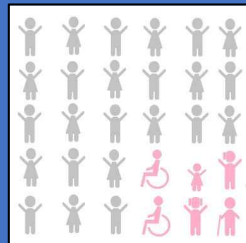
県全体の課題：障害の有無にかかわらず楽しく安全に遊べる場所（公園）が少ない

整備コンセプト（案）

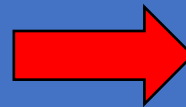
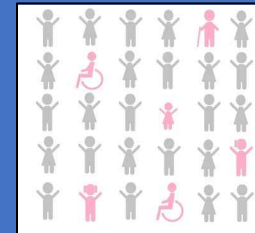
○障害のある人もない人もすべての人が一緒に利用できる公園
各年代のこども、親、（健常者、障害者）の交流を促す公園

参考イメージ

障害のある人もない人も遊ぶことができる遊具の設置



障害のある人もない人も同じように遊ぶことができる空間の提供



○こどもの成長・発信を促し、子育て支援に資する公園
多様なニーズに対応出来るように、運営重視の公園

(7) 整備方針

整備方針(案)

1. ハード整備(インクルーシブ機能検討区域)

- ①雨天時・夏場でも安全に利用できるスペース
- ②整備エリアにアクセスするための駐車場・園路整備



↑雨天時・夏場でも安全に利用できるスペースの設置例
遊具や運動器具を発達段階に応じて組み替えている事例→

※ホームページへの掲載に際して写真を削除しています

2. 運営管理

- ①時代の変化や幅広いニーズに対応するため、遊具や運動器具を組み替えて、様々な遊び場を提供する。
- ②遊びが豊かになるように、プレーリーダー※を配置する等、公園で提供するサービスを充実させる。
※プレーリーダー：遊び場での遊びを補助し、そのための環境を作る人

3. その他

- ① 雨水調整池機能範囲について、調整池の機能を維持し、木や池や芝生広場をそのまま活用する。（活用例：キャンプ、グランピング施設）
- ② 整備する施設はバリアフリー対応にすることはもちろんのこと、医療機器利用者等が必要とする電気を取れる場所等、障害のある人が必要とする設備を整備する。また、洪水等の緊急時に、すべての人が安全に行動できるように、わかりやすい案内表示の整備や情報システムを整備する。
- ③ 整備、運営、維持管理、それぞれにおいて、費用対効果を高める計画とする。



○まほろば健康パーク整備エリア

■今後の予定に関して前回頂いた意見に対する対応

※7月に、導入する機能や提供サービスについて子どもから意見を聴取

※第2回検討委員会後に、地域プラットフォームを活用し、地域企業等にサウンディングを実施。

検討委員会	討議のねらい	主な審議・共有内容
(第1回) インクルーシブ機能のあり方 (令和6年2月6日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ インクルーシブ機能のあり方、また、確保する上での課題や留意点等 	<ul style="list-style-type: none"> ・まほろば健康パークの現状、整備に対するニーズ ・まほろば健康パークの現状、先進事例等を踏まえた、まほろば健康パークにおけるインクルーシブのあり方、確保する際の課題や留意点
(第2回) 整備方針 (令和6年5月28日)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備コンセプト、整備方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ機能のあり方、インクルーシブ機能を確保する上での課題や留意点等を踏まえた整備の方向性 ・地元自治体等からのまほろば健康パークの整備に対する意見聴取
(第3回) 導入する機能、提供サービス (令和6年8月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ まほろば健康パークで導入すべき機能、提供すべきサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存公園エリアの利用者や障害者団体等の整備に対するニーズ調査、7月に子どもから意見を聴取、近隣の類似施設の機能等を踏まえたまほろば健康パークにおいて導入すべき機能 ・導入機能の効果発揮のために提供すべきサービス
(第4回) ゾーニング、導線 (令和6年9月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備範囲におけるゾーニングと導線 	<ul style="list-style-type: none"> ・まほろば健康パークへのアクセス、既存公園エリアのゾーニング、導入機能の需要量等を踏まえた整備範囲におけるゾーニングと導線
(第5回) 施設配置、事業手法・官民役割分担 (令和6年11月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 導入施設の配置、事業手法・官民役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーニングと導線を踏まえた計画平面図・イメージパース(案) ・サウンディングを実施した結果等を踏まえて、整備・管理・運営にあたっての、効果的かつ効率的な事業手法・官民役割分担

第2回